

第2回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 会議次第

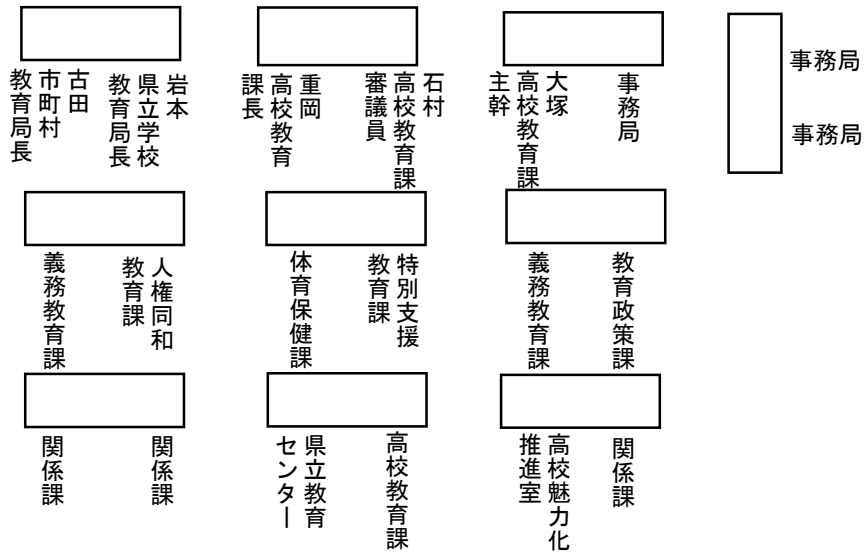
令和3年(2021年)12月17日(金)14:30～
水前寺共済会館グレースシア 芙蓉

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 日程説明
- 4 会議の公開・非公開について
- 5 議事
 - (1) 第1回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の論点整理等について
 - (2) 入学者選抜制度の現状と課題について
 - ア 本県における入学者選抜制度の現状と課題について
 - イ 入学者選抜制度の全国的な動向について
 - ウ 主な都道府県の入学者選抜制度について
- 6 その他
- 7 閉会

第2回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 座席表

出川 聖尚子 副会長 八幡 英幸 会長

小多 崇 委員			野口 泰喜 委員
吉田 孝平 委員			足立 國功 委員
吉永 公力 委員			志波 典明 委員
松岡 隆恭 委員			馬場 敬子 委員
池田 廣 委員			牛田 卓也 委員
松島 雄一郎 委員			田中 万里 委員
			夏木 良博 委員



傍 聴 席 (10脚)

記 者 席 (10脚)

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 委員一覧

	区 分	氏 名	役 職
1	学識経験者	八幡 英幸	学識経験者（熊本大学 理事）
2		出川 聖尚子	学識経験者（熊本学園大学 社会福祉学部 教授）
3	各種団体 関係者等	野口 泰喜	熊本県人権擁護委員連合会会長
4		小多 崇	熊本日日新聞社編集委員兼論説委員
5		足立 國功	熊本県産業教育振興会会長
6	議会・行政 関係者	吉田 孝平	熊本県議会教育警察常任委員会委員長
7		志波 典明	熊本県都市教育長協議会会長
8		吉永 公力	熊本県町村教育長会会長
9	学校教育 関係者	馬場 敬子	熊本県小学校長会会長
10		大園 隆明	熊本県中学校長会会長
11		松岡 隆恭	熊本県中学校長会副会長
12		牛田 卓也	熊本県公立高等学校長会会長
13		池田 廣	熊本県私立中学高等学校協会副会長
14		田中 万里	熊本県PTA連合会会長
15		松島雄一郎	熊本市PTA協議会会長
16		夏木 良博	熊本県公立高等学校PTA連合会会長

第1回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の論点について

第1回の観点	入試日程からの観点	入試日程の設定及び学習内容の終了時期や、入試後の中学生の指導について考慮すべきではないか。
		「進路を早く決めたい」という生徒、保護者の意見がある。
	学びの接続からの観点	学力検査を多くの受検生に課した方が良いのではないか。
	地方創生からの観点	選抜制度の検討を行う際には、地方(郡部)の高校の活性化という観点も必要なのではないか。
選抜制度の見直しに当たっては、県全体のバランス(一極集中)も考える必要があるのではないか。		
入試制度について	入学者選抜制度は、一本化を検討してはどうか。又は、同一日に複数の形態で実施という考え方もあるのではないか。	
	受検生の能力・適性や、学校のスクールミッションを踏まえた入学者選抜制度が必要なのではないか。	
その他	事例研究	他県や私学の状況はどうなっているのか。
	(※働き方改革)	(選抜制度の見直しに当たっては、選抜制度に係る業務改善の観点も必要ではないか。)

過去5か年(平成29年度入試～令和3年度入試)の
県外等からの合格者数の推移について

1 前期(特色)選抜における、県境・全国募集における合格内定者数の推移

入試年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
合格内定者数	9	16	10	9	
合格内定者数全体に占める比率(%)	0.34	0.60	0.38	0.34	

2 後期(一般)選抜における、県境・全国募集における合格者数の推移

入試年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
後期(一般)選抜合格者数	5447	5874	6261	6554	
うち県境・全国募集の合格者数	14(5)	18(2)	13(3)	14(2)	
後期(一般)選抜合格者数に占める県境・全国募集の合格者数の割合(%)	0.26	0.31	0.21	0.21	

※()内は定時制課程の合格者数。内数。合格者数は県立のみ

3 前期(特色)選抜における、学区外の合格内定者数の推移

入試年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
前期(特色)選抜合格内定者数	2637	2670	2599	2660	2679
うち学区外の合格内定者数	27	30	30	29	20
合格内定者数全体に占める比率(%)	1.02	1.12	1.15	1.09	0.75

※合格内定者数は県立のもの

※いわゆる「県境募集」について

県境の市町村に所在する一部の高等学校について、県外からの受検者のうち隣接市町村からの受検者に対して、各募集人員に対する5%以内の県外枠を緩和している。

対象校(11校) 矢部、岱志、鹿本農業、阿蘇中央、小国、高森、人吉、球磨工業、水俣、球磨中央、南稜

※いわゆる「全国募集」について

一部の特色のある学科・コースについては、県外からの受検者に対する入学を許可する数(県外枠)を緩和している。

対象校(5校) 熊本西(サイエンス情報)、矢部(林業科学)、菊池農業(畜産科学)、八代農業泉分校(グリーンライフ)、球磨工業(建築科伝統建築コース)

1 中学校卒業生数及び卒業予定者数の推移

※令和3年3月以前は実績。令和4年3月以降は令和3年5月1日現在の中学校・小学校在籍者数。

(単位:人)

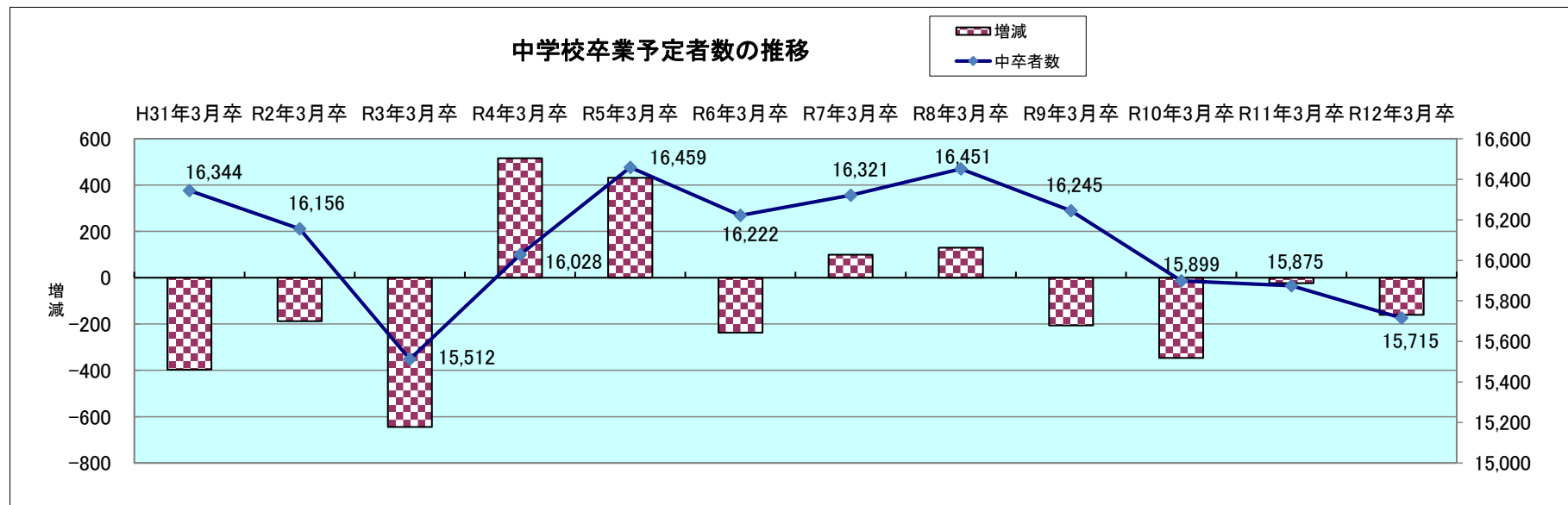
卒業年月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月	令和9年3月	令和10年3月	令和11年3月	令和12年3月
現学年			3月卒業	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
県全体	16,344	16,156	15,512	16,028	16,459	16,222	16,321	16,451	16,245	15,899	15,875	15,715

(対前年差)

卒業年月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月	令和9年3月	令和10年3月	令和11年3月	令和12年3月
現学年			3月卒業	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
県全体	-397	-188	-644	516	431	-237	99	130	-206	-346	-24	-160

(対令和3年3月差)

卒業年月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月	令和9年3月	令和10年3月	令和11年3月	令和12年3月
現学年			3月卒業	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
県全体	832	644	-	516	947	710	809	939	733	387	363	203



公立高等学校募集定員の推移

1 募集定員の推移

(単位：人)

年 度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
募集定員計 A(=B+C)		19,705	19,425	19,345	19,025	18,865	18,785	18,465	18,420	18,220	18,100	18,100	18,060	18,060
公 立	募集定員 (B)	13,240	13,040	12,960	12,640	12,560	12,480	12,160	12,160	11,960	11,840	11,840	11,800	11,800
	増減	△ 80	△ 200	△ 80	△ 320	△ 80	△ 80	△ 320	0	△ 200	△ 120	0	△ 40	0
私 立	募集定員 (C)	6,465	6,385	6,385	6,385	6,305	6,305	6,305	6,260	6,260	6,260	6,260	6,260	6,260
	増減	△ 200	△ 80	0	0	△ 80	0	0	△ 45	0	0	0	0	0
公立の割合 B/A		67.2%	67.1%	67.0%	66.4%	66.6%	66.4%	65.9%	66.0%	65.6%	65.4%	65.4%	65.3%	65.3%
私立の割合 C/A		32.8%	32.9%	33.0%	33.6%	33.4%	33.6%	34.1%	34.0%	34.4%	34.6%	34.6%	34.7%	34.7%

2 第1学年実員の推移

公立第1学年実員 (D)	12,263	12,170	11,507	11,340	10,969	10,594	10,422	10,428	10,225	10,057	9,710	9,398	8,913
私立第1学年実員 (E)	5,440	5,663	5,554	5,695	5,765	5,955	5,826	5,940	5,667	5,674	5,568	5,565	5,483
公私実員計 (F=D+E)	17,703	17,833	17,061	17,035	16,734	16,549	16,248	16,368	15,892	15,731	15,278	14,963	14,396
公立の割合 (D/F)	69.3%	68.2%	67.4%	66.6%	65.5%	64.0%	64.1%	63.7%	64.3%	63.9%	63.6%	62.8%	61.9%
私立の割合 (E/F)	30.7%	31.8%	32.6%	33.4%	34.5%	36.0%	35.9%	36.3%	35.7%	36.1%	36.4%	37.2%	38.1%

※各年度5月1日現在 高校教育課調べ「中学校卒業者の進路状況調査」より

3 定員充足率の推移

公立定員充足率 (D/B)	92.6%	93.3%	88.8%	89.7%	87.3%	84.9%	85.7%	85.8%	85.5%	84.9%	82.0%	79.6%	75.5%
私立定員充足率 (E/C)	84.1%	88.7%	87.0%	89.2%	91.4%	94.4%	92.4%	94.9%	90.5%	90.6%	88.9%	88.9%	87.6%
公私定員充足率 (F/A)	89.8%	91.8%	88.2%	89.5%	88.7%	88.1%	88.0%	88.9%	87.2%	86.9%	84.4%	82.9%	79.7%

私立高等学校入試状況

年度	受験者	合格者	入学者
令和3年度	13,136	11,822	5,492
令和2年度	13,451	12,081	5,567
令和元年度	13,796	12,325	5,567

熊本県私立中学高等学校協会

令和4年度 熊本県私立高等学校生徒募集一覧

学 校 名	学 科 (コース)	定 員	出 願 期 間	試験日	発表日
鎮 西	普通科	310	専願奨学生・併願生 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月15日	1月21日 2月18日
真 和	普通科	200	奨学生・専願生 1月11日～1月14日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月15日	1月25日 2月17日
尚 綱	普通科 (特進) (総合)	320	特待生・専願生・特技特待生 1月11日～1月14日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月15日	1月25日 2月18日
九 州 学 院	普通科 (プログレス) (アドバンス) (アスリート)	320	奨学生・専願生 1月11日～1月14日 一般生 2月3日～2月9日	1月19日 2月16日	1月24日 2月21日
ル ー テ ル 学 院	普通科 (特進) (芸術) (総合)	320	奨学生・専願生(スポーツ専願生含) 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～9日	1月19日 2月16日	1月25日 2月21日
熊 本 信 愛 女 学 院	普通科 (特進) (普通) 情報ビジネス科	210 70	特待生(学業、特技)・専願生 1月11日～1月17日 一般生 2月3日～2月7日	1月19日 2月15日	1月21日 2月18日
開 新	土木建築科 電気情報科 自動車科 機械科 総合学科 普通科	80 80 80 80 80 100	奨学生・専願生 1月11日～1月14日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月16日	1月21日 2月21日
熊 本 中 央	普通科 (特進) (芸術創造) (共通)総合探究 福祉リビング } ※ 総合ビジネス科 看護学科[5年一貫教育]	160 80 80	学力奨学生・専願生(スポーツ専願生含) 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～2月7日	1月19日 2月15日	1月25日 2月18日
慶 誠	普通科 (特別進学) (進学) (教養)教養進学/グローバル/ 情報ビジネス/パティシエ } ※ 食物科	240 40	奨学生(学力、スポーツ文化)・専願生 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月16日	1月25日 2月21日
熊 本 国 府	普通科 (普通) (アスリート) (特進) ビジネス科 (アクティブビジネス) (コンピュータビジネス)	240 240	特待生(奨学、エキスパート、スポーツ) 専願生 1月11日～1月14日 一般生 2月3日～2月9日	1月19日 2月15日	1月25日 2月18日
熊本学園大学付属	普通科	360	奨学生・専願生 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～2月7日	1月19日 2月16日	1月25日 2月21日
熊本マリスト学園	普通科	225	奨学生・専願生 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～2月7日	1月19日 2月15日	1月24日 2月18日

学 校 名	学 科 (コース)	定 員	出 願 期 間	試 験 日	発 表 日
東海大学付属 熊本星翔	普通科	400	奨学生・専願生 1月11日～1月13日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月15日	1月24日 2月21日
文 徳	普通科 (東大・医進) (進特) (普通) 理工科 (特別進学) (専門)	260 100	奨学生・専願生 1月11日～1月14日 一般生 2月3日～2月8日	1月19日 2月15日	1月26日 2月21日
八代白百合学園	普通科 (特別進学) (進学) (標準)	160	特待生 (学力、特技、同窓)・専願生 1月11日～1月17日 一般生 2月3日～2月14日	1月19日 2月16日	1月21日 2月17日
秀 岳 館	普通科 (特進) (進学) (保健福祉) (総合) 商業科 (IT) (トータルデザイン) 建設工業科 (テクニカルデザイン) (インテリアクラフト)	240 60 100	中川奨学生・特別専願生・一般専願生 12月20日～1月14日 一般生 (併願生) 2月3日～2月16日	1月14日 2月16日	1月18日 2月22日
玉 名 女 子	普通科 (特進) (総合) (音楽・保育) ビジネス科 (ライセンス) (アニメデザイン) 食物科 [調理師養成課程] (調理専門) (スイーツ&ベーカリー) 看護学科 [5年一貫教育]	60 40 50 60	※ 1月11日～1月13日	1月17日	1月20日
有 明	普通科 (特進) (進学) (総合) (普通) 機械科 電気情報科 福祉科 看護学科 [5年一貫教育]	80 35 35 40 80	1月11日～1月13日	1月17日	1月20日
菊 池 女 子	普通科 (進学・グローバル) (観光・ビジネス) (みらいくる) 家庭科 (ファッションデザイン) (フードデザイン) (保育ふくし) 社会福祉科	35 35 25	※ 奨学生 (学業、一芸、同窓)・専願生 1月6日～1月13日 一般生・一般奨学生 1月18日～1月28日	1月18日 2月3日	1月21日 2月7日
専修大学玉名	普通科 (文理選抜) (スタンダード) 総合ビジネス科 情報メディア科	110 60 40	奨学生・専願生 1月11日～13日 一般生 (併願) 1月24日～26日	1月17日 1月31日	1月20日 2月2日
城 北	普通科 (特進) (普通) (スポーツ科学) 調理科 医療福祉科 看護科・看護専攻科 [5年一貫教育]	80 60 40 60	専願奨学生・専願生 1月6日～1月12日 一般生・併願学業奨学生 1月18日～1月25日	1月18日 2月3日	1月21日 2月9日

(注) ※印のコースは2年次より

本県における近年の入学者選抜制度の趣旨と課題等について**平成16年度までの入学者選抜**

- ・推薦入試、一般入試、二次募集の実施

中央教育審議会第2次答申（平成9年6月）

- ・高等学校教育の個性化・多様化が進みつつある現在、高等学校がいかに自校にふさわしい者を選抜するかという視点だけでなく、多様な能力・適性や意欲・関心を持つ生徒が、いかに自分に合った進路を的確に選択するかという視点

中学校学習指導要領改訂（平成14年度～）

- ・生きる力を育むために、基礎基本をしっかりと身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの確かな学力を育むこと、基本的な規範意識と倫理観、公共心や他者を思いやる心などの豊かな心を育成する。

平成17年度～ 前期選抜、後期選抜の実施**【導入の趣旨】**

- ・受検機会の拡大 ・受検生の多様な能力・適性を評価 ・高校の特色化

【導入後の課題】※検討会議事録より

- 1 不合格者が多い
- 2 入試事務の業務量の増加（中学校）
- 3 独自問題作成への負担（高校）
- 4 子どもと向き合う時間の減少（中学校・高校）

平成24年度～ 前期（特色）選抜、後期（一般）選抜（現行制度）の実施

（平成17年度から実施された制度の見直し。上記課題の解決）

【改正後の課題】※県立高校のあり方検討会報告書より

- 1 出願者数は減少傾向が続いている。
- 2 近年は中学卒業者数の減少を上回るペースで出願者数が減少している。
- 3 定員割れの高校が増加している。
- 4 高校の入学者選抜の倍率の低下が中学生の学力や、入学者選抜に向けての学習意欲の低下に影響しているとの指摘がある。全国学力・学習状況調査の結果を見ると、充足率が低い都道府県は得点も低い傾向が見られる。
- 5 受検者がほぼ全員入学している高校では、生徒間の学力差が大きくなり、入学後に、習熟度別指導などの多様な指導体制が求められる。
- 6 定員に対して入学者が少ないと、開講科目が減ったり、選択科目ごとの人数が減ったりするなど、教育課程の編成に支障が生じる。
- 7 定員割れが続く高校では、学校の過小評価につながり、更なる定員割れを招いているとの指摘もある。

入学者選抜制度に係る用語等の補足説明について

1 推薦入試について

- ・設置者や学校が定める条件を満たし、中学校長の推薦を受けたものが出願できる。

※本県の前期（特色）選抜や、長崎県の前期選抜、佐賀県の特別選抜は、中学校長の推薦を有しない。

2 本県の前期（特色）選抜、後期（一般）選抜の趣旨について

（1）前期（特色）選抜の趣旨について

ア 受検者の多様な能力・適性や意欲・関心、努力の成果等について優れた面を積極的に評価する。

イ 実施する学校においては、それぞれの特色に応じた選抜を行うことで、特色化を積極的に進める。

（2）後期（一般）選抜の趣旨について

受検者の中学校教育における学習成果を総合的に評価する。

3 その他

（1）奨学（生）入試（特待（生）入試）について

入試の成績によって入学金の（一部）免除や、授業料、校納金等の（一部）免除等の特典が受けられる入試。

スポーツや芸術等の特技を持つものに対する特技特待（生）入試等もある。

（2）専願（入試）について

合格したら必ず入学することが条件となる制度

各都道府県の入学者選抜のパターンについて

パターン	例	名称の例	割合の例	0%←	方法と割合のイメージ	→100%
1	本県現行	長崎(類似)	前期(特色)選抜 上限50(熊本市以外は上限70)% 後期(一般)選抜 30~50%が多い	例:前期(特色)選抜50(熊本市以外は上限70)%	後期(一般)選抜(30~50%のところが多い)	<ul style="list-style-type: none"> 前期(特色)選抜は学力検査なし(長崎は学力検査あり)
2	推薦入試	福岡、大分、宮崎、沖縄等	推薦入試 例:20% 一般入試 例:80%	推薦入試(10~50%のところが多い)	一般入試(50~90%のところが多い)	<ul style="list-style-type: none"> 推薦入試は面接、作文が多い 福岡は加えて特色化選抜を実施
3	一般入試のみ	千葉、埼玉、神奈川等	本検査 100%	例:本検査100%		<ul style="list-style-type: none"> 学力検査+面接等を実施 生徒と向き合う時間の確保 受検機会の減少による不安
4	同一日程で複数の選考	青森、宮城、群馬、静岡等	選考① 学力検査重視 50~90%が多い 選考② 特色重視 10~50%が多い	選考①学力検査重視(50~90%が多い)	選考②特色重視(10~50%が多い)	<ul style="list-style-type: none"> 全員に学力検査を課すところが多い 選考の順番は学校で異なる 受検機会の減少による不安
5	スポーツ芸術+同一日程で複数の選考	佐賀	スポーツ文化芸術特別選抜(指定校のみ) 5~50%程度 一般選抜選考① 学力検査重視 50~90%が多い 一般選抜選考② 特色重視 10~50%が多い	特別選抜5~50%程度 選考①学力検査重視(50~90%が多い)	選考②特色重視(10~50%が多い)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの学校が指定されている。 募集人員は1~2名の学校も 全員が学力検査を受検 選考の順番は学校で異なる

九州・沖縄地区における公立高等学校入学者選抜制度の概要

県名	特色選抜				一般選抜	
	概要	割合	内容	時期	概要	期日
熊本	前期(特色)選抜 ・受検者の多様な能力・適性や意欲・関心、努力の成果等について優れた面を積極的に評価する。 ・実施する学校においては、それぞれの特色に応じた選抜を行うことで、特色化を積極的に進める。	各学校が定める(70%以内)。ただし、熊本市内に位置する高校は50%以内)。	面接、小論文、実技検査等 ※学力検査は実施しない	1月24日		2月24、25日
	推薦入学者選抜 ほとんどの高校で実施	各学校で定める	面接(全校)、作文、実技	2月7、8日		3月8日
福岡	特色化選抜 生徒の多様な個性を積極的に評価する 推薦入試との併願は不可	各学校で定める	面接(全校)、作文、実技	1月26、27日		
	スポーツ・文化芸術特別選抜 スポーツ推進指定校、芸術推進指定校において実施 従来は特色選抜は芸術スポーツ分野とその他の分野を実施していたが、R3入試から、その他分野は一般入試と統合	各学校で定める	学力検査、実技、面接	2月8日	1回の試験で2つの選考を行う(選考①(学力検査以外を重視)、選考②(学力検査を重視)。全員が学力検査を受検する。	3月8、9日
長崎	前期選抜 A特色選抜とB文化・スポーツ特別選抜に分かれる。	各学校が定める(5~50%)。ただし、B文化・スポーツ特別選抜は各学校全募集定員の5%まで	基礎学力検査、面接、プレゼンテーション、実技、作文、小論文から各学校が選んで実施	2月2日		3月8、9日
	推薦入試 県唯一の学科で実施する推薦入試Aとそれ以外を対象とした推薦入試Bがある。	推薦入試Aは50~100%	適性検査、面接、小論文	2月2、3日		3月8、9日
大分	推薦入試 全日制課程、定時制課程の全学科・コースで実施。	10~50%	学力検査、適性検査	2月2日		3月8、9日
宮崎	推薦入試 すべての学科・コースで実施	専門学科60%以内、衛生看護科60%以内、体育科80%以内等。普通科は10%以内	面接等	2月3日		3月3、4日
	推薦入試 すべての学科・コースで実施	20~50%を基本とする。	面接	1月下旬 (学校によって異なる)		3月8、9日

令和3年度入学者選抜の実施状況(全国)

	都道府県名	前期・推薦	後期(一般)
1	北海道	●	○
2	青森県		○
3	岩手県	●	○
4	宮城県		○
5	秋田県	△	○
6	山形県	●	○
7	福島県		○
8	茨城県		○
9	栃木県	○	○
10	群馬県	○	○
11	埼玉県		○
12	千葉県		○
13	東京都	●	○
14	神奈川県		○
15	新潟県	○	○
16	富山県	●	○
17	石川県	●	○
18	福井県	●○	○
19	山梨県	●	○
20	長野県	○	○
21	岐阜県		○
22	静岡県		○
23	愛知県	●	○
24	三重県	○	○

	都道府県名	前期・推薦	後期(一般)
25	滋賀県	●	○
26	京都府	●	○
27	大阪府	○	○
28	兵庫県	○	○
29	奈良県	○	○
30	和歌山県	○	○
31	鳥取県	●	○
32	島根県	●	○
33	岡山県	○	○
34	広島県	●	○
35	山口県	●	○
36	徳島県	○	○
37	香川県	●	○
38	愛媛県	●	○
39	高知県		○
40	福岡県	●	○
41	佐賀県	○	○
42	長崎県	○	○
43	熊本県	○	○
44	大分県	●	○
45	宮崎県	●	○
46	鹿児島県	●	○
47	沖縄県	●	○

※前期については、●:推薦入試、○特色入試・前期入試、△:自己推薦入試となります。
連携型中高一貫教育も含まれます。

※後期については、主として学力検査を行っています。

現在の中学3年生が受検する令和3年度入学者選抜から

新しい公立高等学校の 入学者選抜制度が始まります

受検生が主体的に学校を選ぶ
ことができる制度



受検生の学ぶ意欲や
多様な能力が評価される制度

新しい制度の具体的な特徴としては

全日制課程と定時制課程昼間部は前期選抜・後期選抜となります

全日制課程と定時制課程昼間部では、これまでは推薦入学者選抜（中学校長推薦）と一般入学者選抜を実施してきましたが、新しい制度では前期選抜と後期選抜となり、希望すれば、全ての受検生が前期選抜からチャレンジできるようになります。

前期選抜では各高校の特色を活かした「A 特色選抜」を実施します

前期選抜の「A 特色選抜」では、各高校が学校や学科等の特色に応じた選抜資料、方法を工夫し、受検生の皆さんの学ぶ意欲や多様な能力を評価します。

前期選抜

2月上旬

募集定員は、**全募集定員の5%～50%**の範囲で各高校が学科別に定めます。そのうち、「B 文化・スポーツ特別選抜」については、原則として各高校の**全募集定員の5%まで**の範囲（最大で16名まで）で定員を定めます。

「A 特色選抜」

- 対 象**
- 各高校が示す「育成したい生徒像・求める生徒像」を理解し、当該高校で学ぶ意欲を持つ人。
 - 志願する学校・学科・コース等に対して、興味・関心があり、能力・適性を有し、志願する動機・理由が明確である人。

- 検査方法**
- 調査書その他必要な書類のほか、次の方法から**各高校が選択**して実施します。
基礎学力検査（国語・数学・英語 計60分）、面接、プレゼンテーション、実技、作文・小論文

「B 文化・スポーツ特別選抜」

- 対 象**
- 文化・スポーツの各種大会等で優れた実績を有する人又は部活動で優れた資質や能力を有する人で、入学後も継続的に活動を希望する人。

- 検査方法**
- 調査書その他必要な書類のほか、次の方法から**各高校が選択**して実施します。
基礎学力検査（国語・数学・英語 計60分）、面接、実技、作文・小論文

★「A 特色選抜」「B 文化・スポーツ特別選抜」ともに、調査書その他必要な書類及び各高校で定めた検査について、各高校でそれぞれの比重を定めて選抜を行います。（比重の例） 調査書：基礎学力検査：プレゼンテーション＝5：2：3

後期選抜

3月上旬

- 募集定員**
- 全募集定員から前期選抜の合格者数を減じた数**

- 検査方法**
- 調査書その他必要な書類、**学力検査（国語・社会・数学・理科・英語 各50分）、面接**

★調査書その他必要な書類、学力検査、面接について、各高校でそれぞれの比重を定めて選抜を行います。

★これまでの一般入学者選抜と同様の制度です。ただし、志願変更並びに学力検査（数学・英語）の難易度の異なる選択問題は廃止します。

高校入試が変わります

現在、2回（前期・後期）実施している高校入試が、平成33年度（2021年度）の入学者から1回となります。



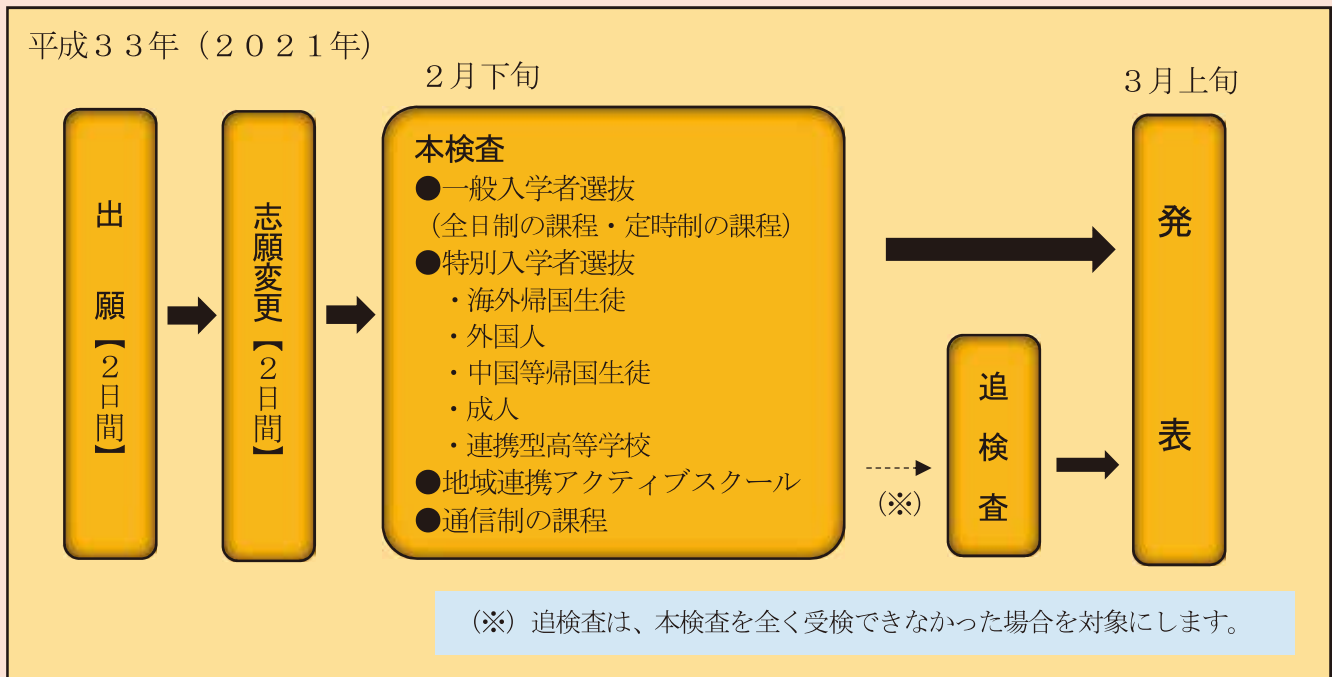
主な変更点

- 「前期選抜」と「後期選抜」を1回にまとめて実施します。
- 学力検査を2日間で実施します。
- 受検機会を保障するため追検査を設けます。
- 英語（リスニングテストを含む）の学力検査を60分で行います。
- 定時制の課程の学力検査は5教科又は3教科で実施します。
- 海外帰国生徒の特別入学選抜の学力検査は3教科となります。



千葉県教育委員会
平成31年3月

1 平成33年度（2021年度）入学者選抜の日程及び流れ



平成33年度（2021年度）入学者選抜の日程は、平成31年12月ころ決まる予定です。

2 入学者選抜の検査時間割の例

一般入学者選抜（全日制の課程）

第1日		第2日	
9:30	集合	9:30	集合
9:30～ 9:40	受付・点呼	9:30～ 9:40	受付・点呼
9:40～ 9:55	注意事項伝達	9:40～ 9:55	注意事項伝達
10:10～ 11:00	国語 (聞き取り検査を含む)	10:10～ 11:00	理科
11:20～ 12:10	数学	11:20～ 12:10	社会
12:10～ 12:55	昼食・休憩	12:10～ 12:55	昼食・休憩
13:05～ 14:05	英語 (リスニングテストを含む)	13:05～ 16:30	各高等学校が定める検査 (面接、作文等)



3 選抜方法について

一般入学者選抜は、「調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」、「学力検査の成績」、「各高等学校において実施した検査の結果」等を資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行います。

平成33年度入試 Q&A (2021年度)



Q 「入学者選抜」を一本化する事で何が変わるのですか。

A 「前期選抜」と「後期選抜」を1回にまとめることで、中学校での授業時間が増え、学校生活がより充実したものになります。

Q 志願変更をすることはできますか。

A 各高等学校の出願状況発表後、2日間、志願変更ができます。

Q 「選抜」は、どのように行われるのですか。

A 選抜に用いる資料や選抜の手順等を各高等学校が「選抜・評価方法」として公表し、それに基づいて選抜を行います。

Q 「追検査」はどのようなときに受検することができるのですか。

A インフルエンザ罹患による発熱で別室での受検も困難である等、やむを得ない理由で本検査を全く受検することができなかった場合、所定の手続きにより、志願している高等学校の校長に承認を受けて受検することができます。

Q 「追検査」はどのような内容で実施されるのですか。

A 本検査に準じた内容で実施します。
一般入学者選抜については、5教科の学力検査を1日で実施します。
面接や作文などの検査の実施については、各高等学校が定めます。

Q 「調査書の扱い」はどのようになりますか。

A 調査書に記載されている評定については、評定の合計値を評価の対象とします。その他の内容については、各高等学校が公表する「選抜・評価方法」に基づいて評価します。

●問合せ先

千葉県教育庁教育振興部学習指導課

〒260-8662 千葉市中央区市場町1番1号 千葉県庁中庁舎内

電話 043-223-4056・4057

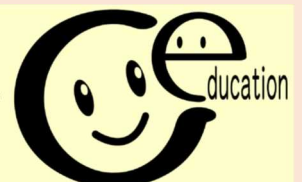
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/>

ちば 平成33年度高校入試

検索

19

みんなで取り組む
千葉の教育



令和4年度 静岡県公立高等学校入学者選抜のあらまし

資料 1 4

全日制の課程【一般選抜】

一般選抜では、各学校が独自に定める学校裁量枠と県共通の方法による共通枠という、2つの選抜枠を設けて実施します。

●学校裁量枠

学校裁量枠では、原則として募集定員の50%以下の範囲内の人数で、学校・学科(科)別に設定します。中学校における学習、文化的・体育的活動、特別活動等、学科への適性、探究活動等への意欲を重視する観点として選抜が行われます。選抜資料として、調査書、学力検査、面接の他に学校が独自に選抜資料を設ける場合があります。詳細は、8月に高校教育課から出される「公立高校をめざすあなたへⅡ」でお知らせします。

選抜の手順は、
①学校裁量枠
②学校裁量枠による合格者を除いたすべての志願者を対象とした共通枠となります。一般的な例としては、次に例示するように希望者を対象とする文化的・体育的活動を重視した選抜があります。また、重視する観点を複数設定する場合があります。「中学校における学習」を第2志望として併願することもできます。

●選抜枠の設定(例:定員が280人の高校)

	希望	人数	重視する観点	選抜資料
学校裁量枠Ⅰ	20%	(56人)	〈重視する観点〉文化的・体育的活動	調査書・学力検査・面接+実技検査
学校裁量枠Ⅱ	30%	(84人)	〈重視する観点〉中学校における学習(9教科の学習成績)	調査書・学力検査・面接
共通枠	50%	(140人)	共通の選抜手順で実施	

▼学校によっては、次に例示するように特定の学科について志願者全員を対象とし、学科への適性を重視した選抜を行います。

●選抜枠の設定(例:定員が40人の学科)

	希望	人数	重視する観点	選抜資料
学校裁量枠	30%	(12人)	〈重視する観点〉学科への適性	調査書・学力検査・面接+適応力検査
共通枠	70%	(28人)	共通の選抜手順で実施	調査書・学力検査・面接

●共通枠

共通枠の選抜資料:調査書、学力検査、面接

【調査書】

各教科の評定(9教科45点満点)、観点別学習状況、特別活動の記録、諸活動の記録などを評価します。

【学力検査】

国語、社会、数学、理科、英語(放送による問題を含む)の5教科で実施します(250点満点)。

【面接】

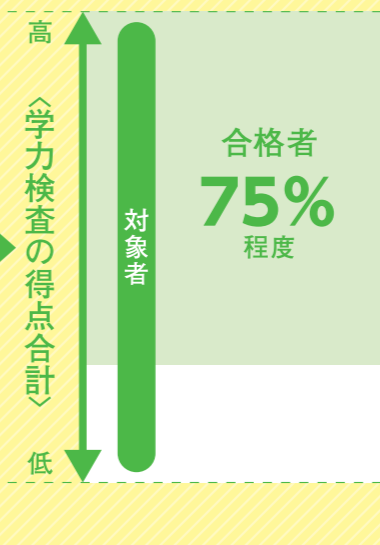
集団面接、個人面接(自己表現を含む)、グループ面接(グループによる討論など)の方法を、各高校が選択して実施します。

第1段階

①第1段階対象者の決定



②第1段階合格者の決定



次の①、②の手順で合格者を決定します。

- ①第1段階対象者の決定
調査書の学習の記録における9教科の評定合計の上位から共通枠定員までの者(同点者を含む)を対象者と決めます。
- ②第1段階合格者の決定
①で決めた対象者のうち、学力検査5教科の得点合計上位75%程度を合格者とする。
※ただし、調査書の学習の記録以外の記載事項、面接の結果等により、合格者から除外される場合があります。
例:募集定員280人で学校裁量枠を設定していない場合。
①により、評定合計の上位者280人が対象者(同点者を含む。)となる。
②により、学力検査の上位者75%程度、この場合、210人程度が合格となる。

第2段階

第1段階による合格者を除いたすべての受検生を対象とし、調査書の学習の記録以外の記載事項及び面接の結果により、共通枠定員の10%程度の者を合格者とします。

※ただし、調査書の学習の記録、学力検査の結果等により、合格者から除外される場合があります。

例:募集定員280人で学校裁量枠を設定していない場合、28人程度。

☆第1段階・第2段階で合格者とする割合の「程度」は、前後10%の範囲とします(75%程度=65%~85%)。

第3段階

第1段階及び第2段階による合格者を除いたすべての受検生を対象とし、調査書の記載事項、学力検査及び面接の結果を総合的に審査して、共通枠定員の15%程度の者を合格者とします。調査書の学習の記録における「観点別学習状況」については、第3段階の調査書の記載事項に含まれます。

例:募集定員280人で学校裁量枠を設定していない場合、42人程度。



全日制の課程【特別選抜】

特別選抜は、特定の学校で実施する選抜で、一般選抜と併願することはできません。

(詳細は「公立高校をめざすあなたへⅡ」)

海外帰国生徒選抜

海外帰国生徒を対象とした選抜です。調査書、学力検査及び面接により、総合的に審査して選抜します。

外国人生徒選抜

県内に居住する外国人生徒を対象とした選抜です。調査書、日本語基礎力検査(基礎的な学力を測る問題を含む。)及び面接などにより、総合的に審査して選抜します。

長期欠席生徒選抜

中学校での欠席日数等の合計が、第3学年でおおむね30日以上又は3年間でおおむね90日以上を生徒を対象とした選抜です。調査書を用いず、自己申告書、副申書、学力検査及び面接により、総合的に審査して選抜します。

連携型選抜

松崎高校、川根高校、浜松湖北高校佐久間分校において、連携する中学校の生徒を対象として実施する選抜です。調査書、学力検査及び面接により、総合的に審査して選抜します。

県外生徒特色選抜

川根高校において、県外に居住している生徒を対象として実施する選抜です。調査書、学力検査及び面接により、総合的に審査して選抜します。

会場番号	学校名	科名	選抜段階	選抜において重視する観点		選抜割合	選抜対象	選抜方法の概要	選抜資料						参考資料 事前調査票
				審査項目					調査書	学力検査	面接	学校独自選抜資料			
												作文	実技検査	その他	
33	清水南	〔設定の目的〕		本校は、生徒の愛校心を育み、芸術科に加え文武両面で特色ある学校づくりを目指すために、普通科において選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、部活動で継続して努力することで他の生徒の模範となり、チームの軸となって活躍することを期待する。											
		普通	Ⅰ	体育的活動		若干名	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	
				ラグビー（男）、バスケットボール（女）、陸上競技における実績、適性、活動意欲											
		Ⅱ	中学校における学習		若干名	希望者	調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題がなく、調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達している者を対象に、調査書の学習の記録における5教科の評定合計に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○	
5教科の学習成績															
芸術	Ⅰ	学科への適性		100%	全員	調査書の学習の記録における9教科の評定合計、学力検査の得点合計及び面接の結果に問題のない者を対象に、専攻を希望する教科の評定、実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、調査書の諸項目の記載事項に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○		
音楽又は美術に対する興味・関心及び技能・表現力															
102	静岡市立清水桜が丘	〔設定の目的〕		本校には、全国的に活躍する部活動が複数あることから、校訓「礎」の下で、高い志で地域の期待に応え地域に貢献できる人材育成を目指すため、選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、自ら進んで練習し、部活動の実績向上に貢献するとともに、他の生徒の模範として積極的に学校生活を送ることを期待する。											
		普通	Ⅰ	文化的・体育的活動		15%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	
				野球（男）、サッカー（男）、陸上競技、ハンドボール、バレーボール、吹奏楽における実績、適性、活動意欲											
		Ⅱ	中学校における学習		30%程度	希望者	調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における9教科の評定合計に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○	
			9教科の学習成績												
		商業	Ⅰ	文化的・体育的活動		35%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○
野球（男）、サッカー（男）、陸上競技、ハンドボール、バレーボール、吹奏楽における実績、適性、活動意欲															
Ⅱ	中学校における学習		15%程度	希望者	調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における9教科の評定合計に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	○	○		
	9教科の学習成績														
34	静岡	〔設定の目的〕		本校は、歴史と伝統を誇り地域からも活躍が期待される野球部の活動を、学校の活性化と生徒の愛校心の醸成に生かすため、野球（男）において選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、部活動の競技成績の向上に資するとともに、校訓「叩高（高きを仰ぐ）」を極めつつ、生活面での模範となることを期待する。											
		普通	Ⅰ	体育的活動		3%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	
野球（男）における実績、適性、活動意欲															
35	静岡城北	〔設定の目的〕		本校は、「高き希望を持って学び続け、社会をよりよく生きる人」の育成のために、選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、普通科においては部活動を通して、グローバル科においては英語を使った行動を通して、「つながる力」「みつめる力」「行動する力」「考える力」を培い、所属する集団や社会に貢献することを期待する。											
		普通	Ⅰ	体育的活動		9%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○	○	○	○	
				バスケットボール（男）、サッカー（男）、ハンドボール（女）、新体操（女）における実績、適性、活動意欲											
グローバル	Ⅰ	学科への適性		20%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び適応力検査の結果に優れた者を合格者とする。	○	○	○	○	○	○	適応力検査		
社会の課題解決に向け行動する意欲・能力・実績（日本語での討論及び英語での質問への回答）															

県立高等学校入学者選抜制度の検討について（見直しの方向性）

